

■第2回宇部市多文化共生推進ビジョン策定委員会における指摘事項及びその対応について

指摘事項	指摘者	対応
ヒアリング項目を資料編でまとめること。	委員長	別添資料により示します。
主な意見、主な質問をまとめて示すこと。	事務局	別添資料により示します。
日本人住民の外国人に対する思い込みを払拭するために日本人住民の意識を啓発すること。	西山委員	取組の方向性「(3) 多文化共生の意識啓発と相互理解の促進」により対応します。
アンケートの結果がビジョンの一番の基本となるべきであること。	阿部アドバイザー	「ビジョン策定の基礎資料」によりアンケート結果を基本にしていることを示します。
外国人を排斥するような意見を受け止め、丁寧に説明していくこと。	阿部アドバイザー	取組の方向性「(3) 多文化共生の意識啓発と相互理解の促進」により対応します。
多文化共生に触れる機会並びに外国人住民及び日本人住民が交流する機会を多く作ること。	阿部アドバイザー	取組の方向性「(4) 外国人住民の地域での交流・活躍の推進と社会参画」により対応します。
国籍ではなく日本語指導の要否で整理すること。	田中委員	日本語指導の要否により整理しました。
やさしい日本語を啓発すること。	川崎委員	取組の方向性「(2) 「やさしい日本語」の普及啓発」により対応します。
情報を得たいと思ったときにアクセスできる仕組みを作ること。	川崎委員	取組の方向性「(13) 多言語による行政情報や相談窓口の提供」により対応します。
外国人住民を地域行事に受け入れるためのガイドブックを検討すること。	石崎委員	取組の方向性「(4) 外国人住民の地域での交流・活躍の推進と社会参画」により対応します。
地域の会議等において地域課題の一つとして多文化共生に取り組む必要があることを市が周知すること。	西山委員	取組の方向性「(14) 多文化共生の実現に向けた情報発信」により対応します。
将来のトレンドを想定すること。	西山委員	在留資格別人口をトレンド推計しました。現状では推計に十分なデータを有していないため、データを蓄積し、トレンド予測を継続します。
親子健康手帳(母子健康手帳)にベトナム語がないこと。	西山委員	取組の方向性「(6) 外国人が利用しやすい生活サービスの充実」により対応します。
日本語教育のスタッフが少ないこと。	小寺委員	取組の方向性「(1) 生活のために必要な日本語教育の充実」により対応します。
外国人住民の多国籍化を想定し、日本人住民の多様性に対する理解を深めること。	阿部アドバイザー	取組の方向性「(3) 多文化共生の意識啓発と相互理解の促進」により対応します。
地域住民と外国人住民の交流をコーディネートできる人材の確保と育成に取り組むこと。	田中委員	取組の方向性「(3) 多文化共生の意識啓発と相互理解の促進」により対応します。
行政機関、教育機関等において職員を対象とした研修を行うこと。	田中委員	取組の方向性「(13) 多言語による行政情報や相談窓口の提供」により対応します。
取組に注力する地区の指定等により小さな取組を積み重ねること。	石崎委員	取組の方向性「(4) 外国人住民の地域での交流・活躍の推進と社会参画」により対応します。
日本語教室を財政的に支援すること。	西山委員	取組の方向性「(1) 生活のために必要な日本語教育の充実」により対応します。
多文化共生を推進することによる未来を日本人に分かってもらうこと。	山根アドバイザー	取組の方向性「(3) 多文化共生の意識啓発と相互理解の促進」により対応します。
企業にとっても多文化共生のメリットがあることを外国人住民と日本人住民の双方に伝えること。	山根アドバイザー	取組の方向性「(8) 外国人住民が働きやすい就労環境の整備」により対応します。
山口市の多文化共生推進リーダー育成講座を参考にすること。	山根アドバイザー	取組の方向性「(3) 多文化共生の意識啓発と相互理解の促進」により対応します。
実現可能な事業を記載すること。	阿部アドバイザー	各取組の方向性の実現可能な取組を記載することにより対応します。
まず多文化共生について市民に知ってもらうこと。	阿部アドバイザー	取組の方向性「(3) 多文化共生の意識啓発と相互理解の促進」により対応します。
ビジョンに新規アイデアを盛り込み、多言語で発信すること。	阿部アドバイザー	取組の方向性「(14) 多文化共生の実現に向けた情報発信」により対応します。
外国人住民が地域経済を下支えしていること。	阿部アドバイザー	基本方針「3 日本人と外国人が共に活躍できる地域づくり」により対応します。
外国人のことに限らず、まちをどうするかという視点でビジョンを作成すること。	阿部アドバイザー	基本理念に盛り込みます。
日本語学習希望者への受け皿を作ること。	阿部アドバイザー	取組の方向性「(1) 生活のために必要な日本語教育の充実」により対応します。
外国人を受け入れている事業者に日本語教育のメリットを伝達すること。	阿部アドバイザー	取組の方向性「(1) 生活のために必要な日本語教育の充実」により対応します。
留学生が宇部市の企業に就職できる取組を検討すること。	阿部アドバイザー	取組の方向性「(8) 外国人住民が働きやすい就労環境の整備」により対応します。